

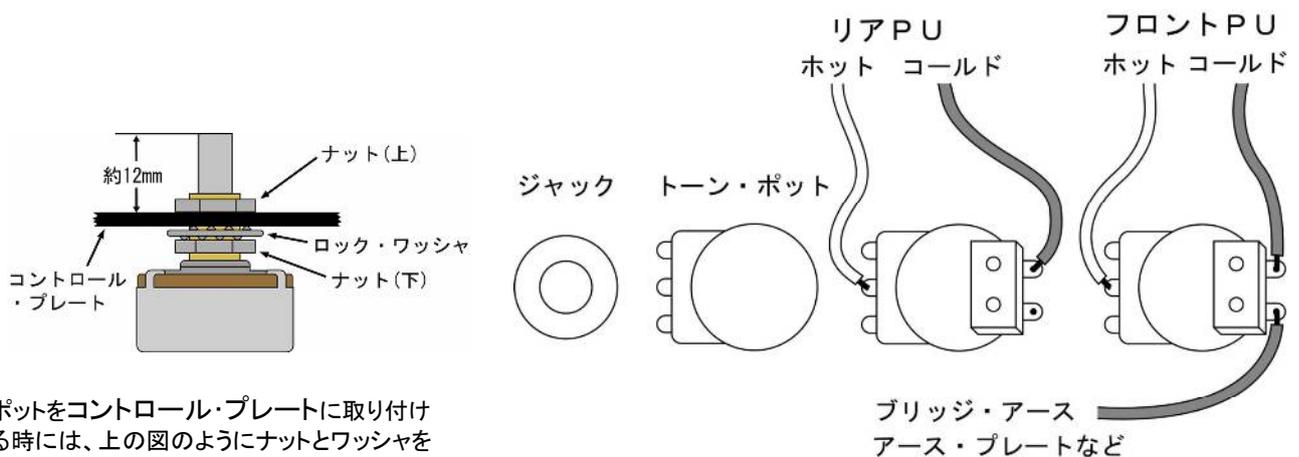
SONIC QUALITY PRIMITIVE CIRCUIT FOR JB STYLE

取付方法

- ①コントロール・プレートをはずして裏返します。この時ボディに傷を付けないように、クロスなどを敷きます。
- ②基本的に元通りに配線する部分が多いので、念のためオリジナルの配線を記録しておきます。
- ③各ピックアップからの線(合計4本)、ブリッジ・アースの線のハンダ付けをはずして、ボディとコントロール・プレートを分離します。
- ④ボリュームとトーンのノブをはずし、オリジナルのポット及びジャックをコントロール・プレートから取り外します。
- ⑤日本製ベースなどで、コントロール・プレートの取付穴が小さい場合は、ポット穴とジャック穴を3/8インチ(約9.5mm)径に拡げます。金工用のドリルなどを使用してください。
- ⑥本製品の各パーツをコントロール・プレートに取り付けます。ポット・ナット、ジャック・ナットは対辺1/2インチ(12.7mm)ですが、13mmのボックス・レンチも使用可能です。ポットの端子部などがボディ内部に干渉しないように、向きに注意してください(下図参照)。
- ⑦ノブ類は流用できますが、本製品はインチ仕様ですので、メトリック仕様のノブは取り付けられません。合わない場合は別途購入してください。
- ⑧各ピックアップのコールド・ワイヤー(黒)はラグ板の端子(どちらでもOK)にハンダ付けします。
- ⑨各ピックアップのホット・ワイヤー(白)は各ボリューム・ポットの端子にハンダ付けします(下図参照)。
- ⑩ブリッジ・アースの線をラグ板の端子(どちらでもOK)にハンダ付けし、コントロール・プレートを元に戻します。この時、各ワイヤーをコントロール・プレートとボディの間に挟まないように気を付けてください。

注意

- 取り付けに自信がない場合は、販売店などにご相談ください。
- ハンダ付け作業で熱を加えすぎると、パーツが破損することがありますのでご注意ください。
- ベースによってピックアップ配線材の色、アース配線の方法などが解説と異なる場合があります。



ポットをコントロール・プレートに取り付ける時には、上の図のようにナットとワッシャを使用して下さい。
トーン・ポットについては、シャフトを少し低めにして下さい。